

2021



桜ヶ丘病院
Sakuragaoka Hospital

さくらそう

桜ヶ丘病院広報誌



さくらニュース



「Withコロナ」をむかえて



適切な感情表現とは？



【不定期】認知症・思いつき日記



最新ニュースもチェック▼
桜ヶ丘病院スタッフブログ
<http://e-sakurahp.com/staffblog/>

七尾城（国指定史跡）



令和3年 冬号の表紙 ～七尾城(国指定史跡)～

所在地：能登国鹿島郡七尾(現・七尾市古府町竹町古屋敷町入会大塚14番1外)

七尾城を築いたのは南北朝時代～室町時代に足利将軍家に仕えた守護大名の「畠山満慶(はたけやま みつのり)?-1432」。その満慶は父、「畠山基国(はたけやま もとくに)1352-1406」の死後、室町幕府三代将軍「足利義満」から疎まれ失脚していた兄の畠山満家に代わり家督を継承、鹿苑寺金閣に代表される北山文化華やかなりし頃の京都で室町幕府を支えていましたが、足利義満の死去(1408)に伴い、家督を兄に返還。このことは当時「天下の美挙」と称えられ、感謝の意から与えられた能登の国に下向、京都にも拠点をもつ能登畠山氏が創設されることとなりました。

まるで中央政府のシステムがそのまま能登の地にやってきたわけで、一時期不満を持つ家臣や一向一揆の影響から兄弟間での覇権争いに至り危機を迎えるものの、室町幕府を支えた守護大名の多くが、下剋上の世にあって没落していく中、第7代当主となる「畠山義総(はたけやま よしふさ)1491-1545」は伯父で養父でもある第4代第6代「畠山義元(はたけやま よしもと)?-1515」と共同統治をおこない一向一揆を鎮圧、畠山家をそのまま戦国大名へと進化させることにも成功、1515年義元死去後、実父第5代「畠山慶致(はたけやま よしむね)?-1526)」と共同して積極的な国作りを行い、砦程度の規模であった七尾城を居城として整備、山麓の城下町には「千門万戸」が一里余りも連なり、山頂にそびえる七尾城の威容は「天宮」とまで称されたと伝わります。

文化人でもあった義総のもとには、都での戦乱を逃れ下向してきた公家や連歌師などの文化人が多数集まり、商人や手工業者にも手厚い保護を加え、慶総治世下の七尾の城下町は小京都と呼ばれるまでに発展。

畠山氏に仕える下級家臣の子で染物屋の養子となった後の画聖「長谷川等伯(1539-1610)」は、この町で画才と感性を磨き、養父母亡き後に上洛、中央画壇で狩野派と並ぶ存在となりました。

後に上杉謙信の攻撃を一年以上耐え切ったほどの屈指の名城といわれた七尾城。上杉謙信の後、織田信長の領地となり、やがて前田利家が治めることとなりますが、防御上はともかく治世・経済上では不便との理由から、七尾港にも近い小丸山城(現：七尾市小丸山公園)に拠点を移して廃城となりました。

その七尾城址は近年、調査と整備が進められ、本丸跡からは七尾湾や能登半島が一望でき、地元のボランティアガイドさんのお話によると、石川県内の方よりも、県外からの方が多く訪れるとのこと。

ふもとの七尾城史資料館からの道を歩くと往復で約150分、車で本丸駐車場まで上がると50分ほどで城郭中心部をめぐることができます。

(文責：いしかわ観光特使 藪 一明)



【不定期】
認知症・思いつき日記

「いくつになっても…トキメキは必要です!？」

1.

おしゃれで手芸好きの妹さんが作ってきてくれました…



2.

これまでのお気に入りにはあっさり…と(笑)



3.

今日は骨折後の整形外科定期受診日…



4.

リハビリシューズではココロときめかず…
オシャレなのが欲しかったようです





「適切な感情表現とは？」

TOPIC OF anger management

新年あけましておめでとうございます。

精神科アンガーマネジメント看護師の袋井修平です。新年を迎え心新たに感情の専門家として努めていきたいと思いますので、皆さんよろしくお願い致します。

さて今日は感情表現について考えていきたいと思います。日本国民はとても感情表現の豊かな民族で、数多くの表現が存在すると言われていました。その証拠に日本語は語彙数がとても多いです。

Wikipediaによると「各語の90%以上を理解しようとする場合、フランス語なら約2,000語、英語なら3,000語、ドイツ語なら約5,000語、日本語なら10,000語が必要」だとも言われています。感情表現についても語彙数に比例して膨大な量となっており、非常に表現豊かな言語として日本語は位置づけられています。しかしながら自身の感情表現についてはどうでしょうか？自身の感情を的確に表現することができているのでしょうか？

喜怒哀楽の感情表現にとどまらず、感情表現はとても幅広いものになります。うれしい⇔うれしくない。楽しい⇔楽しくない。イライラする⇔イライラしない。これでは、物事を0点か100点かの二択で表現することになります。怒りについて例えるなら、怒る・怒らないだけの判断となってしまう、自分も周囲も無駄な労力を費やしてしまうおそれがあります。世の中を100点かそれ以外かで捉えると、それ以外のケースが大部分であることが推察されます。物事には60点も80点も存在します。程度に合わせて表現も変化させることが重要になります。

感情そのものには良いも悪いもありません。極端に言うと、自身がどんな感情を抱いても問題は無いのですが、適切な場で適切な相手に適切に表現できるかどうかポイントになります。

「敵のため火を吹く怒りも、加熱しすぎては自分が火傷する」これはイングランドの作家シェイクスピアの名言です。

相手への怒りに我を見失い、自身の燃やしたその怒りの炎に、身を焼き尽くされ、自滅してしまう。こうした最悪の事態に陥らないためにも自身の尺度を明確にし、適切な感情表現で上手に周囲に伝えられると良いですね。無駄にイライラせずに、今年も自身の感情に責任をもって行動していきましょう。

記事：看護師、CVPPPトレーナー、アンガーマネジメントファシリテーター、
アンガーマネジメントキッズインストラクタートレーナー、
アンガーマネジメントアドバイザー 袋井 修平

「With コロナ」をむかえて

突然の猛威を振るった新型コロナウイルス。未知の敵を前に何をどうすればよいのかもわからず、手探りの状態で感染対策に右往左往する日々が続きました。外出(泊)の中止、面会禁止と患者さんご家族の皆様には不便な思いをさせたことと思います。そんな中、緊急事態宣言・自粛生活と今までに経験したことのない時代を迎えました。

最近では新型コロナウイルスの正体も少しずつわかってきたことや、マスク着用、ソーシャルディスタンスなど新しい生活様式にも慣れてきたことで落ち着きを取り戻してきたことと思います。当院でも新たにタブレットを使っのりリモート面会が導入され新しい面会として好評をいただいています。

しかし、まだまだ新型コロナウイルスの脅威は去ったわけではありません。これから冬場を迎えインフルエンザの同時流行も危惧されており、今後より一層の注意が必要となります。我々ICT(感染対策チーム)も感染対策としてスタッフへのマスク着用に加えアイシールドの着用。万が一感染疑いが発生した場合に備えて防護具の着脱訓練、ゾーニングなどのシミュレーションやスタッフ教育を行い、日々新型コロナウイルスなどの感染に備えています。

まだ面会の再開のめども立たない中、以前のような生活にはなかなか戻れないかもしれませんが、また以前のような生活を送れることを願いながら、これからも感染予防のための対策を続けていきたいと思います。いつかそんな日が来るまで共に頑張りましょう。

ICT(感染対策チーム) 野田 貴史

さくらニュース

★TOPIC.1★

医療安全研修会が開催されました

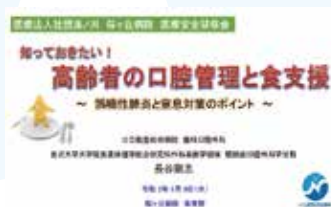
昨年9月9日、24日に、当院内において医療安全研修が開催されました。

公立能登総合病院 歯科口腔外科部長の長谷剛志先生をお招きし、『知っておきたい！高齢者の口腔管理と食支援』というテーマで、日頃私たちが関わっている患者さんの「食べること」への支援の奥深さを再認識させられる内容でした。

現時点が食支援のどの過程かをアセスメントすることの大切さ、窒息しやすい意外なもの、口腔ケアの重要性など、どのスライドにも学び多いものであり、参加者から「症例が多く分かりやすかった」「安易に食事形態を落とさず、その人らしさを大切に支援することの重要性を感じた」という感想が寄せられました。

また、「長谷先生のこの研修をまたして欲しい」「当院の事例も使って欲しい」などのリクエストもありましたので、今度何らかの機会を使ってお願いしたいと思っています。

長谷先生、本当にありがとうございました。
(文責：PSW四日)



★TOPIC.2★

病院機能評価広報誌

「Improve」の取材を受けました

令和2年10月に(公財)日本医療機能評価機構が発刊する「認定病院の改善事例紹介シリーズ「Improve」」の取材を受けました。「Improve」は、認定病院の質の改善活動を全国に紹介し、日本における医療の質の向上を目的に発刊されているものだそうです。

当病院は平成31年に3回目の病院機能評価を受審し、認定を更新することができました。今回の取材では、審査の中で高い評価を獲得した「職員教育・研修」の項目について取り上げられることになりました。

インタビューでは「教育に関する具体的な取り組み」として、「研修を実施・受講してもらうための工夫ポイント」や「看護部の継続教育・新人教育の取り組み」、「研修受講者の思い」などを話す機会をいただきました。取材を受ける中で感じたことは、継続することの大切さです。

当病院では、25年以上前から職員教育に取り組み、現在に至るまで継続しています。今後も皆さんに安全な医療を安心して受けていただくことができるよう、職員教育の継続・向上を図っていききたいと思っています。

また、取材の中で「病院機能評価受審に対する思い」についてもインタビューを受けました。その中で、病院長は「明日、突然抜き打ちで訪問審査を受けてもパスできるような病院を目指そう」「それでも大丈夫」と言えるように日々取り組もう」と話されました。当病院で患者さんが安心して医療・看護を受けていただくためには、とても大切なことだと改めて実感しました。今後も病院の医療の質を保つため、職員の意識・看護の水準を上げることができるよう、日々努力していききたいと思っています。

●病院機能評価とは：

国民が安全で安心な医療が受けられるよう、病院組織全体の運営および医療について、基本的な活動(機能)が適切に実施されているかどうかを評価する仕組み。審査の結果、一定水準を満たしていると認められた病院が「認定病院」です。

すなわち認定病院は地域に根ざし、安心・安全、信頼を納得の得られる医療サービスを提供すべく日々努力している病院といえます。全国の病院の3割が認定(2019年3月)されています。
(病院機能評価ガイドブックより)



栄養部より『バイキング』のご紹介です

当院では、長期にわたり入院されている患者さんに自主性や患者さん同士のコミュニケーションを促すため、平成9年より病棟で通常と違ったお食事を楽しめる、バイキングを実施しております。

またデイケア利用者さんからもバイキング実施のご要望があり、令和2年11月にデイケアでもバイキングを初めて実施したところ、「とても美味しかった」「今後実施してほしい」と大変喜んでいただけました。



病院理念

精神科専門病院として、心のケアから高齢者医療にいたるまで、
心のこもった医療を行います。

基本方針

- 1) 優れたスタッフを育成し、質の高い医療を提供します。
- 2) 安全性、信頼性を常に考え、十分な説明と理解と同意に基づいて治療を行います。
- 3) 地域医療の発展に貢献する病院を目指します。

患者さんの権利

- 1) あなたは、良質な医療を受ける権利を持っています。
- 2) あなたは、医師、病院を自由に選択する権利を持っています。
- 3) あなたは、十分な説明を受けた後に、治療を受け入れるか、または拒否する権利を持っています。
- 4) あなたは、ご自身の情報を得る権利を持っています。
- 5) あなたは、ご自身の情報について守られる権利を持っています。
- 6) あなたは、健康教育を受ける権利を持っています。

※なお、皆さんは権利とともに義務も発生いたします。

入院生活を送っていただくうえでは必ず病院規則はお守り下さい。

《外来診察スケジュール》

診療時間	診療科目		月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	精神科	一診	岩崎	眞舘	林	南野	天野	南野
		二診			眞舘	大平		大嶋
		三診						大平
	内科			常勤医			常勤医	
午後 (13:30~17:00)	精神科	一診	大嶋	大平	天野	岩崎	林	
		二診						
	内科							

《外来受付時間》

○ 初診 午前 8:30~11:00 ◎ 再診 午前 8:30~11:30
午後 13:00~16:00 午後 13:00~16:30

・初診の場合は、待ち時間短縮のため、必ず前日(土・日・祝日を除く)までに「地域連携室」にご連絡下さい。

医療法人社団浅ノ川



標榜診療科 精神科 内科 歯科

●精神科デイケア・デイナイトケア 「さくらんぼ」
●グループホーム 「プリムラ」「ハイツ北金沢」

TEL:076-258-1454

〒920-3112 石川県金沢市観法寺町へ174番地

